２００６年6月１３日

温故知新　平安時代のヘアケア習慣に着目
米のとぎ汁のダメージヘア改善効果を実証
とぎ汁由来の　「泔（ゆする）エッセンス」を開発

カネボウ・トリニティ・ホールディングス株式会社
カネボウホームプロダクツ株式会社

カネボウホームプロダクツ株式会社は「泔（ゆする）」と呼ばれる米のとぎ汁を用いた平安時代宮廷女性の髪のお手入れ習慣に着目し、米のとぎ汁にダメージヘアを改善する効果があることを実証しました。加えて、現代女性のダメージヘア改善成分として、米のとぎ汁由来の「泔（ゆする）エッセンス」の開発に成功いたしました。

ダメージヘアの改善成分として、現在、天然由来の植物油、タンパク質、アミノ酸などが使用されています。ヘアケアのためには、毛髪の表面滑り性、ツヤ、弾性という３つの機能性の付与が重要ですが、それら３つの機能を１つの成分で達成することは困難であり、その組合せ技術が種々検討されております。しかしながら、個々の成分の効果を互いに打ち消しあい、その組合せによっては意図する複合効果が出ないなどの問題が生じ、成分の応用技術が常に課題となっています。

今回、当社は日本古来の知恵「泔（ゆする）」という古きに学び、科学的見地から分析・評価・再設計をすることにより、新たに、表面滑り性、ツヤ、弾性の３つの機能を兼ね備えたトータルダメージヘア改善素材「泔（ゆする）エッセンス」の開発に成功しました。

１．「泔（ゆする）」への着目

当社ビューティケア研究所では、飛鳥・奈良時代にまでさかのぼり、日本女性の髪型の歴史とヘアケア習慣を徹底調査いたしました。美しい髪はいつの時代でも人々の憧れであり、その実現のために工夫を凝らし、様々な天然由来成分の活用を日本女性は試みてきました。その中でも平安時代の宮廷女性は『身の丈余るすべらかし（垂髪）』といわれるロングヘアであり、毎日の櫛通しには「泔（ゆする）」と呼ばれる米のとぎ汁を使用していたと記録されています。現代の日本女性のヘアスタイルはロング化傾向にあり、現在約６０％の女性がセミロングまたはロングヘアであります。そして髪のロング化とともにダメージも深刻になってきております。

そこで当社は「泔（ゆする）」を用いた平安時代のお手入れ習慣に着目し、現代女性のダメージヘア改善技術として応用するために検討を行いました。

２．「泔（ゆする）」の効果、課題

毛髪はパーマやヘアカラーの使用などによりダメージを受け、表面滑り性、弾性、及び、表面のツヤなどが低下してしまうということは良く知られています。当社は平安時代の「泔（ゆ

する)」を再現し、ダメージヘアに対して塗布試験を行ったところ、表面滑り性付与、及び、弾性付与などのダメージヘア改善効果を確認することができました。しかしながら同時に「泔（ゆする)」処理により、毛髪表面に粉をふいてしまい外観上好ましくないという問題点があることも判明し、ヘアケア成分として使用するためにはさらに改善が必要であると考えました。そこで、「泔（ゆする)」の構成成分分析を行ったところ（別紙図１)、デンプンが粉ふきの原因であることを突き止めました。毛髪表面上に水不溶性デンプンが析出して粉をふいてしまい、ツヤを損ねてしまっていると考えられます。

３.「泔（ゆする）エッセンス」の開発（トータルヘアケア成分)

「泔（ゆする)」中のダメージヘア改善効果が高く、かつ、粉ふきを生じることのない成分を取り出して使用することを目指し、検討を行いました。その結果、コメ胚芽油、フィチン酸、イノシトール、タンパク質に表面滑り性付与、及び、ツヤ付与などの高い効果を見出すことができました。そして「泔（ゆする)」の構成成分比率をもとに、デンプンを除いて、効果の高かったコメ胚芽油、フィチン酸、イノシトール、タンパク質を組み合わせて「泔（ゆする）エッセンス」を設計しました。その結果、粉ふきを生じることもなく、本来の「泔（ゆする)」よりも高いダメージヘア改善効果を見出すことができました。その効果はツヤ、表面滑り性、及び、弾性を付与する効果をすべて兼ね備えたものです（別紙図２)。個々の成分の効果をバランスよく引き出し、トータルでダメージヘア改善機能を発揮する古来和成分の応用が可能となりました。

以上のように、当社は「泔（ゆする)」という古きを温めた結果、高いダメージヘア改善効果という新しきを知ることができました。即ち温故知新によって、現代女性のダメージヘアの救世主となるトータルヘアケア成分「泔（ゆする）エッセンス」の開発に成功いたしました。

４．インバスヘアケア製品への応用

当社は、今回の「泔（ゆする）エッセンス」を応用したインバスヘアケア製品（シャンプー、コンディショナー、ヘアトリートメント）を現在開発中であり、今秋、新ブランドとして発売を予定しています。

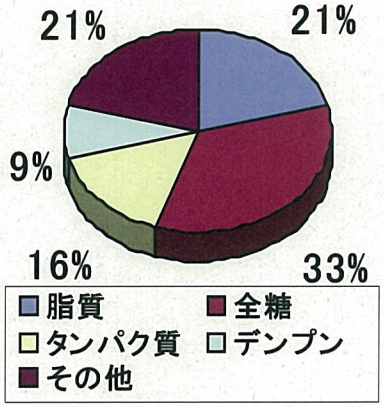
以　上

＜問い合わせ先＞
カネボウ・トリニティ・ホールディングス株式会社
総務・広報部　０３―５４４６―３０４２

別紙

（図１）

泔（ゆする）=米のとぎ汁の構成成分

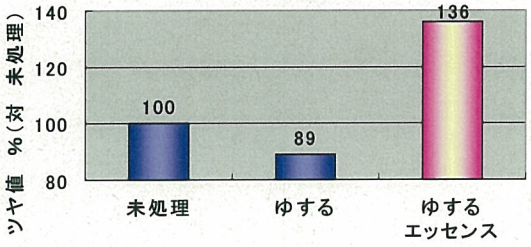


分類	主な成分
脂質	コメ胚芽油 （トリグリセライド、γオリザノール） フェルラ酸　脚気予防 植物ステロール、トコフェロールなど
全糖	フィチン酸（ 結石予防、消臭・防臭 ） イノシトール（ 育毛、脂肪燃焼 ） 多糖類
タンパク質	コメタンパク （スキンケア、ヘアケア効果）
デンプン	コメデンプン （ 白米の主要構成成分 ）
その他	灰分（カリウム、マグネシウム、 カルシウムなどのミネラル分）

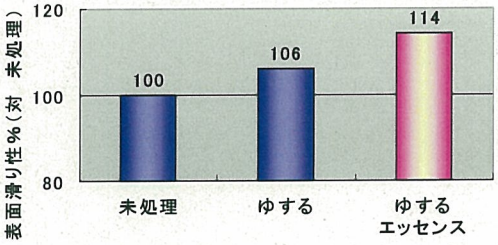
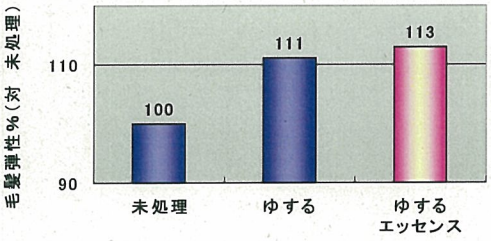
（図２）

泔（ゆする）ゆするエッセンスの機能

ツヤ付与効果



滑り性付与効果



弾性付与効果